

フィンドレー大学への協定校留学 2月分報告書

留学先大学；フィンドレー大学

氏名；高橋光子

【はじめに】

今回は、主に文化的なイベントについてお伝えしたいと思います。

【World Heritage Day】

2月16日はWorld Heritage Dayで、フィンドレーの高校が会場となり、多くの小学生が集まっている様々な国の文化に触れるというイベントがありました。私たち日本人留学生はそこで、ソーラン節を披露しました。まだ完璧に振り付けを覚えていないところもありましたが、暖かい感想をいただきました。会場には、10を超える国のブースがあり、そこではその国の伝統の料理が用意されていました。今まで食べたことがない料理がたくさんあり、料理を通して、様々な国に興味を持つきっかけにもなりました。また、小学生たちによるファッションショーも行われ、それぞれの国の伝統的な服もみることができました。多様な人種がいるアメリカだからこそできるイベントだと思いました。また、まだ人種や性別などに対する偏見が構築される前の小学生が、このようなイベントに参加するということはとても重要なことだと感じました。日本でもこのようなイベントがあれば、多文化共生につながるいい機会になるのではないかと思います。

【International Mother Language Day】

2月21日はInternational Mother Language Dayでした。この日は、 Bangladesh の母国語に関する歴史的な事件から、母国語を守るためにできた日で、Bangladesh では、最も重要な日となっています。そこで、世界各国から来た留学生たちが、母語を使ったパフォーマンスをしました。参加した国としては、Bangladesh ・インド・台湾・韓国・日本・ウクライナ・ガーナ・ネパールなどでした。母国語の歌を披露する人や、伝統的なダンス、詩を披露する人もいました。私たち日本人留学生はソーラン節を踊りました。日本文化に興味がある三人のアメリカ人学生も参加してくれて計9人でソーラン節を披露しました。このイベントをフィンドレー大学で行う目的として、多文化にフィンドレーの学生が興味を持つこと、多文化を受け入れることなどがあります。フィンドレーは小さな町で人種の多様性があまりないため、生徒が異文化や多人種などに慣れておらず、かかわることを控える傾向があるとの話もあるため、少しでも違う文化を知ってもらうためにもこのイベントはとても重要なものです。何とかソーラン節は形になり、パフォーマンスを終えることができました。

【Spring Break】

二月の後半から三月五日まで、春休みでした。私は、友達の家でホームステイさせていただきました。韓国料理屋へ行ったり、日本のアニメと一緒に見たり、犬の散歩に行ったり、デイケアセンターのお手伝いをしたりと、普段の大学生活ではできないことができた春休みでした。

【おわりに】

留学生活も残り二か月となりました。後悔が残らないように残りの生活も頑張ります。



友達の家ホームステイした時に、友達がアジア料理の店に連れて行ってくれました。

